

## 優秀種雄牛（広島和牛）の選抜について

令和3年4月19日  
研究開発課  
畜産課

### 1 要旨

県立総合技術研究所畜産技術センターにおいて生産した2頭の種雄牛（和牛）の産肉能力が高い評価であったことから、優秀種雄牛として選抜し、1頭（「花勝百合」）は県内の和牛生産に活用し、もう1頭（「花勝美」）は、全国各地での和牛生産において、本県産種雄牛として活用されるよう一般社団法人畜産改良事業団（以下、「事業団」という。）に貸付けることとする。

### 2 取組の経緯

県内で飼養される産肉能力が高い繁殖雌牛から畜産技術センターにおいて受精卵を製造し、両親が同じ「花勝百合」と「花勝美」の2頭の候補種雄牛を生産し（平成27年度）、これら2頭の産子の能力評価（枝肉成績の調査分析）を開始した（平成29年度）。

この度、2頭の産子が、評価対象時期に達し、能力評価結果がまとまった（令和2年度）。

### 3 能力評価結果

(1) 「花勝百合」は、これまでの県有種雄牛の中で、歴代1位の評価結果であった。

また、「花勝美」もほぼ「花勝百合」に匹敵する結果であった。

#### 【評価のポイント】

ア 産肉能力：脂肪交雑能力の高さと併せ枝肉重量も大きく、肉質・肉量ともに改良する能力が高い。

イ 血統：貴重な広島県血統を有しており、今後の種牛生産への利用が期待される。

(2) 能力評価の結果から、県は2頭とも優秀種雄牛として選抜することとした。

### 4 期待される効果

「花勝百合」は、県内の生産者へ販売し、県内の和牛生産に活用する。県内生産者からの注目は高く、精液の販売本数は急激に伸びており、広島和牛の増産が期待される。

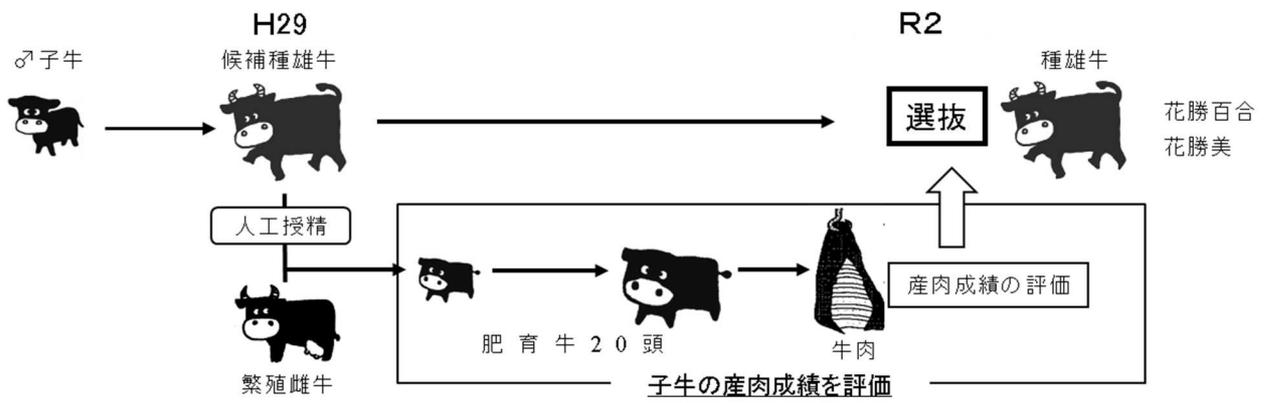
「花勝美」は、県と協力して能力評価を実施した事業団の要請に応じ、有償で貸付けることとし、事業団経由で全国流通することで、全国の畜産業界に対し、広島県が和牛産地として認知され、県内産の和牛子牛の評価や取引価格が向上することが期待される。

### 5 今後の取組

今後、県は、「花勝百合」を活用した県内の和牛生産を推進し、高品質な広島和牛の安定生産と安定供給を図り、比婆牛などのブランド力向上のための生産体制を構築する。

このため、6月に畜産技術センターにおいて、種雄牛の展示会を開催し、県内生産者に対して活用方法を説明し、利用を促すこととしている。

(参考 能力評価のイメージ図)



# はな かつ ゆ り 優秀種雄牛「花勝百合」選抜！ 産肉能力 歴代1位！！



生年月日：平成27年11月17日 産地：神石高原町  
 個体識別番号：1343085808 繁殖者：渡邊英治

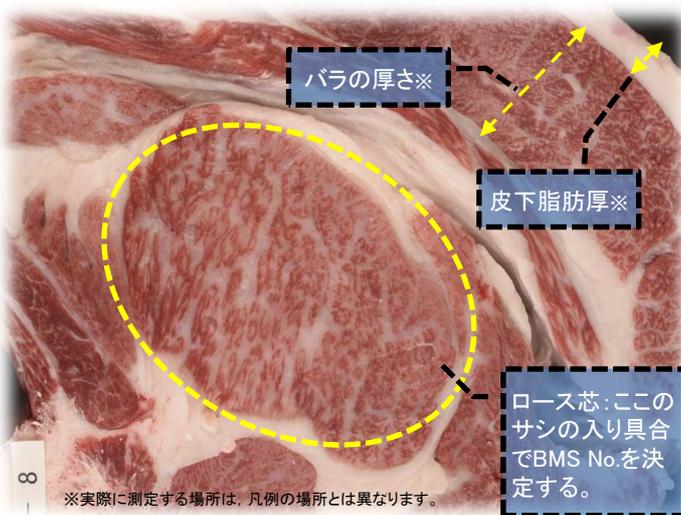
一代祖	二代祖	三代祖
美津百合	百合茂	平茂勝
	よしの1	美津福
はなひら	勝白	平茂勝
	はなもと984	福栄

「花勝百合」は、母方祖父が県有種雄牛「勝白」であり、広島血統を有しています。  
 体型は、深みがあり中躯が充実し、伸びのある大型の種雄牛となっています。  
 枝肉重量は、516.3kgと大きく、BMS No.は8.8と歴代1位の成績です！

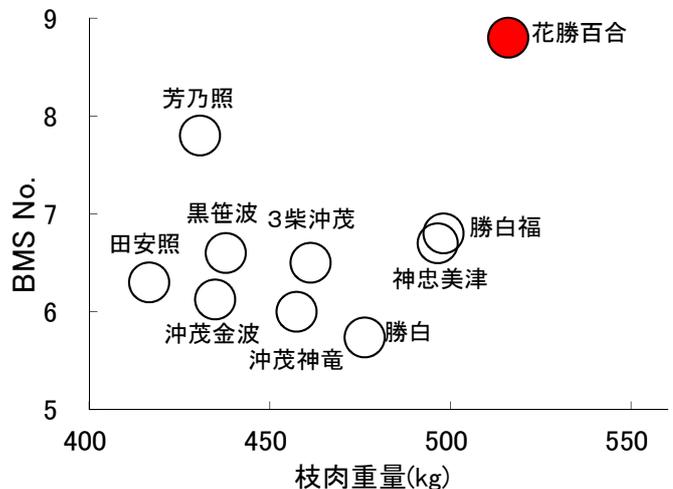
（BMS No.とは、Beef Marbling Standardの頭文字。ロース芯の脂肪（サシ、霜降り）の入り方を12段階にランク分けしている。5等級はBMS No. 8から12を言う。）

## <産肉能力>

性	頭数	出荷月齢	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm <sup>2</sup> )	バラの厚さ (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	推定歩留 (%)	BMS No.	肉質等級4・5率
去勢	12	27.0	539.0	67.6	8.5	2.8	74.6	8.8	100%
雌	6	28.2	471.0	66.3	7.8	2.9	74.8	9.0	100%
全体	18	27.4	516.3	67.2	8.3	2.8	74.7	8.8	100%



花勝百合の産子の枝肉



県内種雄牛の産肉能力の比較